デジタルたんけんカード Ver.8　年 名前

	内　容	番号	レベル１	レベル２	レベル３
A 基本操作	基本	A 1	電源を入れたり、切ったりすることができる。	再起動をかけることができる。	
		A 2	音量を場面に合わせて調整できる。	画面の明るさを調整できる。	
		A 3	パスワードを入力し、指もん認証をかけることができる。	自分でアカウントを入力し、サインインを実行することができる。	
		A 4	スクリーンショットをとることができる。	エアドロップを使って、データのやり取りをすることができる。	
		A 5	ミラーリングをすることができる。		
		A 6	２つのページを同時に開くことができる。（スプリットビュー）		
	文字入力	A 7	ひらがな入力ができる。	フリック入力ができる。	スタイラスペンで文字を入力することができる。
		A 8	スクリーンキーボードの切り替えができる。		
		A 9	音声入力ができる。		
		A 10	ローマ字入力、記号の入力ができる。	ホームポジションでローマ字入力ができる。	キーボードを見ないで入力ができる。（ブラインドタッチ）
		A 11	１分間に１５文字程度の入力ができる。	１分間に３０文字程度の入力ができる。	１分間に４０文字程度の入力ができる。
		A 12	文字のコピー・切り取り・貼り付けができる。		
	データ管理	A 13	目的のファイル・フォルダを見つけることができる。	指示したフォルダにデータを保存することができる。	データの名前を変更することができる。
		A 14	ダウンロードして本体に保存できる。	不要なデータを削除できる。	
	写真・動画	A 15	写真・動画を撮影することができる。	撮影機能を選択できる。（スロー・タイムラプス・パノラマ・タイマー）	構図や画角を考えて撮影することができる。
		A 16	画像の向きや大きさを変えることができる。	トリミングをすることができる。	写真に文字などを書き込むことができる。
		A 17	画像の文字読み取り機能を利用することができる。		
B 読取・表現	検さく	B 1	調べたいことを、検さくすることができる。	キーワードを組み合わせて検さくし、目的に合う情報を調べることができる。	
		B 2	使わないページ（タブ）を閉じることができる。	２つのページを同時に開いて見比べることができる。	
		B 3	地図アプリで目的の場所を見つけることができる。	地図アプリでストリートビューを使うことができる。	地図アプリで目的地までの経路を調べることができる。
		B 4	インターネットの文を読むために「ふりがな」を使うことができる。		
		B 5	カメラの画像検さく機能を使って調べることができる。		

B 読取・表現・プレゼン	スライド	B 6	テキストボックスに文を書くことができる。	写真やテキストボックスのコピー・ペーストができる。	デザイン（構図・字体・配色バランス）を計算してまとめることができる。
		B 7	写真やイラストを入れたり、削除したりすることができる。	必要な写真を選んで使うことができる。（著作権や出典を記載する）	説得力を高めるための写真・図・グラフを選んで使うことができる。
		B 8	スライドを増やすことができる。（挿入・コピー）	スライドの順番を変えることができる。	
		B 9	複数スライドを合わせて１つのスライドにまとめることができる。	チームで分担して、スライドを作成することができる。（共同編集）	
		B 10	文字のフォント・大きさ・色を変えることができる。	見やすさを考えて、文字のフォント・大きさ・色を変えることができる。	発表の内容や効果を考えて、文字組みを整えることができる。
		B 11	スライドショー機能を使うことができる。		
		B 12	背景色を変えたり、スライドデザインを選んだりすることができる。	見やすさを考えて背景色を決めたり、スライドデザインを選んだりすることができる。	発表の内容や効果を考えて、背景色やスライドデザインを決めることができる。
		B 13	アニメーションをつけることができる。（文字・写真・画面切り替え）	見やすさを考えて、必要な場所だけにアニメーションをつけることができる。	発表の内容や効果を考えて、アニメーションを精選することができる。
	電子黒板	B 14	文字や簡単な図などをかいたり、消したりすることができる。	相手に見やすいように、文字の色や太さを変えることができる。	文字や簡単な図などを書いて、自分の考えを相手に伝えることができる。
		B 15	書画カメラを使うことができる。		
		B 16	ページを増やすことができる。		
		B 17	スクリーンショットをとることができる。	スクリーンショットした画像に書き込みをしながら発表することができる。	
C アプリ活用		C 1	１つのキャラクターを動かすことができる	複数のキャラクターを同時に動かすことができる。	イメージ通りに動かすプログラムを組むことができる。
		C 2	様々な音を鳴らしたり、簡単な旋律を打ち込んだりすることができる。	音やリズムの組み合わせを考えて演奏プログラムを組むことができる。	思いや意図を生かしたメロディを創作し演奏プログラムを組むことができる。
		C 3	ペイントやスタンプ等を使って、絵をかくことができる。	制作した作品ファイルに名前を付けて保存することができる。	保存した作品を提出することができる。
		C 4	動画の再生速度を変更して視聴することができる。	動画の左右を反転させて視聴することができる。	ダンスなどが習得できるよう、機能を活用することができる。
		C 5	画像の撮影や削除をすることができる。	こまどり映像を作成したり、保存したりすることができる。	反転・透かし・フレームレートを設定して動画を作成することができる。
		C 6	遅延時間を変更することができる。	運動に応じて遅延時間を変更し、自分の試技を確認することができる。	
		C 7	短い動画を制作することができる。	動画に文字やスタンプを入れることができる。	イメージ通りに動画を作ることができる。（トリミング・分割・複製など）
		C 8	タイトル・テロップ・BGMを入れることができる。	不要な部分をカットして、複数の動画をつなげることができる。	視聴時間や内容を考えた動画編集をすることができる。
		C 9	ビデオ（MP４）にファイル変換して保存することができる。		
		C 10	アップロードされたデータを指示通りに開くことができる。	チーム内のメンバーでデータのやり取りをすることができる。	チーム内のメンバーで共同作業をすることができる。
		C 11	アンケートやクイズを作ることができる。	QRコードを作成することができる。	アンケート結果を発表やクイズ等に生かすことができる。
		C 12	作成したもの（アンケートなど）をコピーすることができる。	作成したコピーを他の人に渡すことができる。	共同編集をすることができる。
		C 13	作成されたプログラムを利用して、図形をかくことができる。	作成されたプログラムの一部を変更して、様々な図形をかくことができる。	プログラムを作成して、様々な図形をかくことができる。
		C 14	アーテックロボとBluetooth接続することができる。		
		C 15	絵をかくことができる。	アニメーション等を作成することができる。	